



北東アジアの交通インフラの動向

ERINA Policy Proposal Seminar
2012年4月11日 都道府県会館
調査研究部主任研究員 新井洋史

© 2012 Economic Research Institute for Northeast Asia
All rights reserved

1




内容

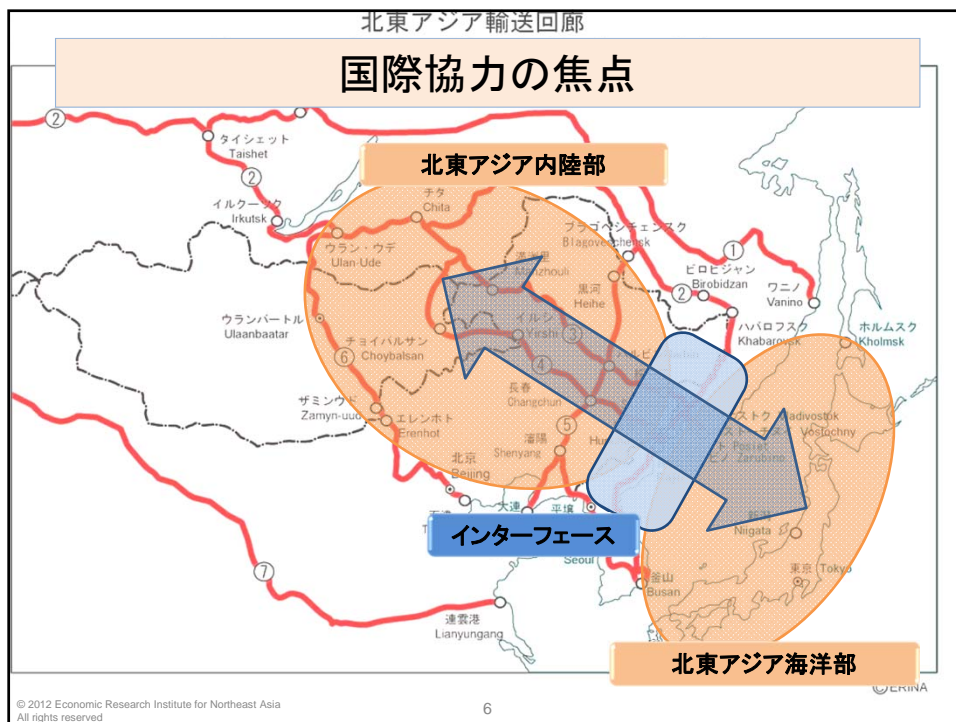
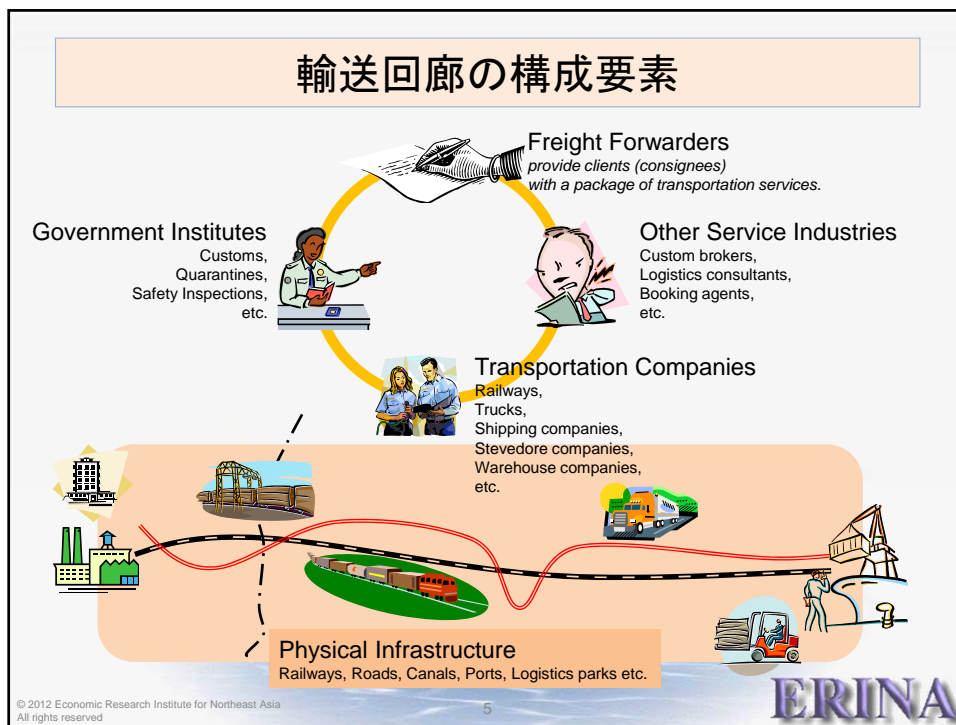
- 北東アジア輸送回廊ビジョン
- 「綏芬河輸送回廊」と「図們江輸送回廊」
- 国際協力の現状と展望

© 2012 Economic Research Institute for Northeast Asia
All rights reserved

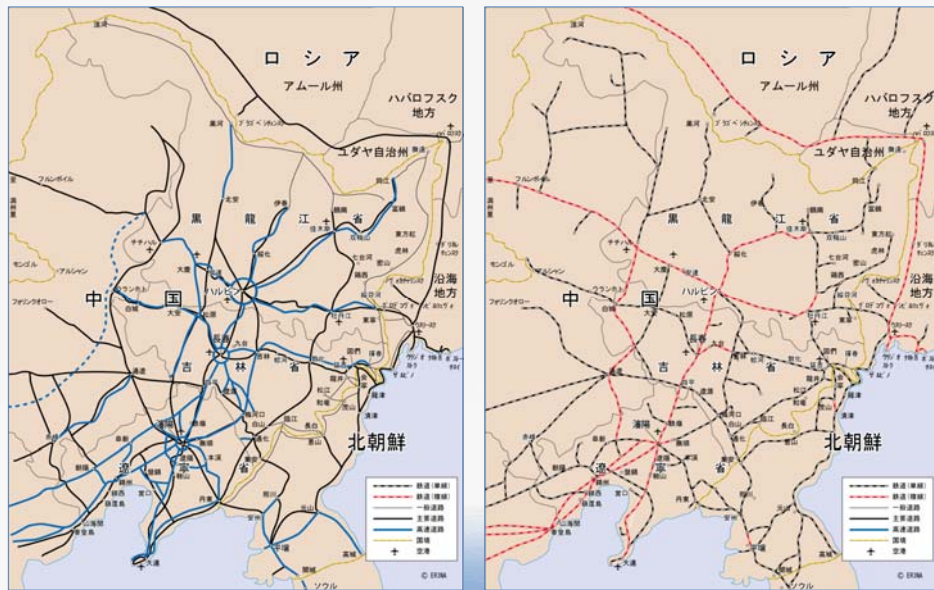
2







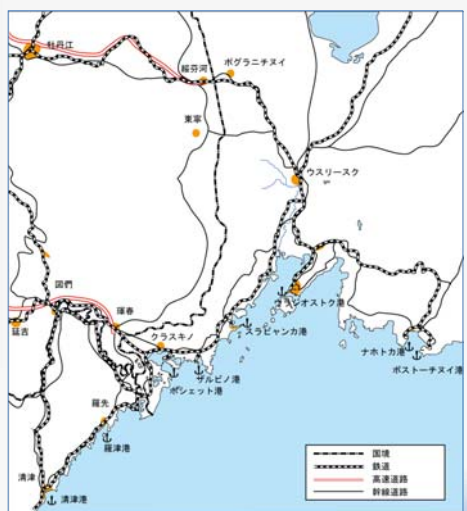
参考：ハードインフラの概況（中国東北部を中心に）



© 2012 Economic Research Institute for Northeast Asia
All rights reserved



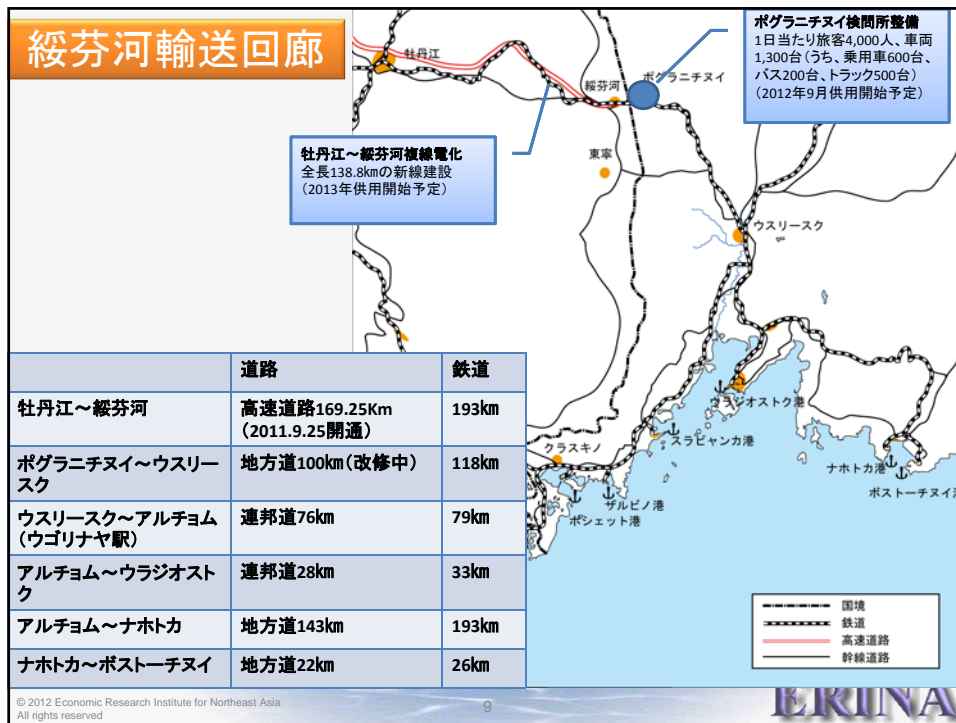
綏芬河輸送回廊と図們江輸送回廊（東部）



綏芬河輸送回廊	図們江輸送回廊
牡丹江	延吉
綏芬河	琿春
ポグラニチヌイ	クラスキノ/元汀
ウスリースク	ザルビノ港/羅津港
ウラジオストク港/ナホトカ港/ポストーチヌイ港	
海上輸送 (日本、韓国などへ)	海上輸送 (日本、韓国などへ)

© 2012 Economic Research Institute for Northeast Asia
All rights reserved





緩芬河輸送回廊・図們江輸送回廊の課題

ハードインフラの課題	ソフトインフラの課題
<ul style="list-style-type: none"> • 鉄道の運行停止(中口国境～クラスキノ).....今夏、運行再開(?) • 国境検問所(ロシア側)の処理能力.....今年中に改善 • ザルビノ港の荷役体制(フルロードコンテナを扱えない).....当面は応急対応 <p>など</p> <p>かつて、ザルビノ～東草フェリー航路で年間5～6,000TEUを扱っており、その程度は可能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 通し運送人(通しB/L発行者)の不在 • 国境通過手続の複雑さ(2度の国境通過とその間のトランジットの扱い) • 運賃の高止まり • 予測困難性(バックアップ体制も不十分) <p>など</p> <p>いかに、「実験」から「ビジネス」に移行させていくか?</p>

© 2012 Economic Research Institute for Northeast Asia All rights reserved. 11

国際協力の現状と展望

GTI(大図們江イニシアチブ)	日中韓露政府間協力
<p>(中・モン・韓・ロの政府間協力)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「運輸部会」、「貿易円滑化委員会」、「地域間協力委員会」 • 運輸部会では2012年「大図們江地域回廊」の総合調査を実施。 • 「地域間協力委員会」の活動には鳥取県、新潟県なども参加。 	<ul style="list-style-type: none"> • 2011年12月、運輸政策官庁の局長級で合意。 • 複合一貫輸送の推進を目的。 • 2012年中に、局長・局次長級の枠組みを立ち上げ。 • 各国の官民実務家・専門家WGでの課題整理を先行。

「地方政府と企業を中心とする模索、試行段階」

↓

「中央政府が参加し、発展に力を入れる段階」

(NICE2012中国交通運輸部規画研究院高級工程師馮雲氏発言)

ERINAは双方に参画

© 2012 Economic Research Institute for Northeast Asia All rights reserved. 12

